

漢方 婦人科 産科 浮田医院 だより



第 22 号

発行所：産科 婦人科 漢方
浮田医院

〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/

発行日：平成12年8月5日(土)

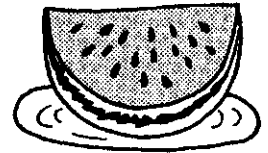
発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ

脈診

I (22)



10周年記念パーティが盛會裏に終わることができましたのも、皆様方のお陰と感謝しております。色々な方々に、浮田医院が支えられていることを痛感いたしました。また、6月に開催された日本東洋医学会(京都)では、多くの他科の医師と議論でき、多くの知識やヒントを得ました。これからも、できるだけ多くの優れた方とお会いして、議論や討論を重ねていきたいと思えます。こういった事は、今後、患者様の治療に大きく反映するはずで、大いに期待しておいて下さい。

今日は、「脈診」のことをお話しましょう。西洋医学では、脈拍数や不整脈を診るために、脈をとります。一方、漢方医学では、脈の力、血管壁の硬さや太さ、血液の流れ方、脈拍数、浅く触れた時と深く触れた時との違いなどを参考にして、病氣に対する体の反応、五臓六腑の調和、気血水の流れた

どを詳しく調べます。脈を診ると、「喉が渴いているな」、「ストレスが多いな」、「風邪を引きかけているな」、「妊娠したかな」など分かります。脈は、左右の手首で、それぞれ3カ所ずつ、計6カ所を診ます。一番手首寄りが「寸」、真



浮田医院10周年記念パーティー (7月16日(日))

中が「関」、肘寄りが「尺」で、各部位は、臓腑と関連し、右の寸が「肺」、関が「脾」、尺が「三焦」、左の寸が「心」、関が「肝」、尺が「腎」と関係しています。当院では、この6カ所で、脈診を行なっています。脈診を受けられる時、「手首を押さえる私の指の感触」を感じて下さい。

では、実例をお示しします。

47歳女性、「胸肩背痛」「便秘」
「起床時の口の違和感」「耳鳴り」
で来院。顔色青黒。右胸脇苦満(肋骨下の抵抗圧痛)、心下痞硬(みぞおちの抵抗)、胸骨圧痛、右膈傍抵抗圧痛、脈は沈んで、力強く(緊)、ゆっくり(緩)し、舌は紫黒色、先に暗紅点、暗黄色の乾舌苔が見られました。そこで柴陷湯+大黃牡丹皮湯+竜骨牡蠣を処方したところ、便秘、胸肩背痛などの症状がよくなりました。

5歳女性「アトピー性皮膚炎」
「痒み」で来院。顔首、体、手足に、赤褐色でザラザラになった部分が数多く見られ、引っ掻き傷もあちらこちらにありました。両側胸脇苦満、腹直筋緊張を認め、脈は速く、力があり、玉を転がしたように(滑)感じられました。舌は鮮紅色、乾いた薄白苔が見られ





たので、白虎加人參湯十地黄を処方したところ、痒みも赤みも次第に改善してきています。今後、乾燥した肌を治療していくことになります。

45歳男性、「倦怠感」で来院。

顔はほんのり赤く、眼瞼や頬が腫れぼったい。胸脇苦満と心下痞硬を少し認め、胃内停水（心窩部を叩くとジャブジャブ）は明らかで、脈は浮いて、細く弱い。舌は淡紅色、乾いた薄黄苔が見られたため、医学六要の清暑益氣湯を処方したところ、だんだんと元気になりました。

37歳女性「めまい」「むくみ」

「倦怠感」80/50で来院。顔はむくみ、青白く、脈は緊張があつて、沈み、舌は淡白色で大きく、舌苔はなく、胃内停水、臍傍抵抗圧痛、臍上悸（臍の上に動悸）を認めたので、当帰芍薬散十苓桂朮甘湯十菊花十車前子を処方したところ、むくみが減って、体の調子がよくなり、血圧も100/60になりました。

15歳女性、「アトピー性皮膚炎」

「痒み」で来院。顔色良好、首の皮膚は赤く肥厚、ザラザラして、汗をかくと、特に痒い。背中、下腹部、肘と膝の裏も同じ様に痒い。脈は弦、やや速くかなり力強い。

舌は淡紅色、薄白苔を認め、右胸脇苦満、両側腹直筋緊張、両側臍傍圧痛が見られたので、荆芥連翹湯十黄連解毒湯十桂枝茯苓丸十薏苡仁を処方し、入浴後、紫雲膏十ワセリンを塗るようにしたところ、次第に、カサカサした状態も痒みも改善してきています。

42歳女性、「ギックリ腰」で来院。顔色は普通、両頬はやや赤く、脈は浮いて速く、弦、舌は紫紅色、薄白苔が見られ、腹直筋が両側共に緊張、胸脇苦満も両側臍傍圧痛も認められましたので、芍薬甘草湯加附子を処方し、志室、腎俞、次髎、委中、陽陵泉に鍼をすると、日毎に腰痛も下肢痛もよくなりました。

残暑厳しいこの頃ですが、涼しい風が頬や腕に当たると、すうっとし、ほっとします。お疲れを出されませんように。次回も、脈診です。一緒に考え、治療に応用していきましょう。

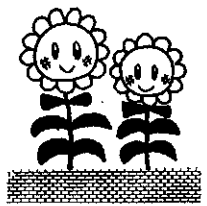


【院長】



アトピー性皮膚炎

最初に、痒み、赤み、ジクジク感、カサカサ感などの症状を、次に、硬くなった皮膚、カサカサした皮膚を柔らかい皮膚に戻し、健康な皮膚を蘇らせる治療をします。治療は、3ヶ月（乳児）～2年前後（成人）必要です。症状に応じて、漢方薬（エキス剤、湯液）、漢方軟膏、アトピー軟膏、保湿剤、抗生物質軟膏、抗ヒスタミン軟膏、非ステロイド軟膏、ステロイド軟膏、抗真菌軟膏、漢方入浴剤などを使用いたします。



夏ばて

暑い夏に、汗をかき過ぎて、体の水分が不足したり、冷たいジュース類を飲み過ぎて、体がむくんだり、首肩背や手足が痛くなったり、冷房の中で体が冷えきったり、夜更かしをして、疲労がたまり、食欲が落ちている方、漢方薬で、体力を回復して下さい。



低血圧症

【胃腸虚弱】【めまい】【疲れやすい】【冷え症】【むくみ】【朝起きれない】などの症状は、他人にはなかなか理解してもらえません。つらい日々をお過ごしのことと思います。漢方薬は、このような症状を改善するのに向いています。



当院の漢方治療



剤型について

- ・エキス漢方：エキス顆粒の漢方薬（大部分【粉薬】、一部【錠剤】）。携帯に便利。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組合せた漢方薬。40～50分煮て作ります。

当院のエキス漢方は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも、湿める場合、【冷蔵庫】で保管して下さい。

漢方薬が湿りやすい場合、当院の【漢方専用容器】（無料）をご利用下さい。

適応症について

すべての疾患に適応できます。便秘、頭痛、肩凝り、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、排尿障害、発熱・・・など全ての症状に対応できます。

- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、肩凝り、腰痛、便秘症、子宮内膜症、生理痛、冷え症、低血圧症、子宮筋腫、過敏性大腸炎、慢性肝炎、慢性疲労、めまい、頭痛、下痢、風邪、肥満、夏ばて、動悸、慢性膀胱炎、血尿、慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎、慢性扁桃腺炎、口内炎、口腔乾燥症、痛風、夏まけ、慢性胃炎、慢性膵臓炎、慢性胆嚢炎、胆石症、胃十二指腸潰瘍、前立腺肥大、クーラー病、虚弱児、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、帯状疱疹後神経痛、神経痛、膝関節症、下肢静脈瘤、上下肢浮腫、不妊症、切迫流産、切迫早産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不良、乳腺症・・・等
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧症、アレルギー性鼻炎、糖尿病、骨粗鬆症、痔、肝硬変、肝臓癌、喘息、腎炎、甲状腺疾患、高脂血症、高コレステロール血症、不眠症、自律神経失調症、鬱病、夜尿症、慢性関節リウマチ、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用時倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・・・・・・・・・・・・・・等

エキス漢方と漢方煎じ薬について

- ・軽症の病気：漢方製剤（エキス顆粒）を組合せて治療します。
- ・中程度の病気：漢方製剤と単味の生薬エキス顆粒を組合せて治療します。
- ・重症の病気やエキス顆粒無効の場合
漢方煎じ薬を使います。より細やかに治療できますので、治療効果も優れています。

女性の方に限らず、男性の方や子供の方もご相談下さい（高齢の方、乳幼児の方もどうぞ）。問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診断法（四診）や検査（超音波、血液、便、心電図、骨塩量測定・・・・・・・・）などを利用して、【漢方薬】の決定をします。

皮内針

針の長さは1～2mmで、刺す時の痛みはありません。
【適応】肩凝り、腰痛、神経痛、筋肉痛・・・・・・・・

神経照射（スーパーライザー）

赤い温かい光（近赤外線）で血行をよくして、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、肩こり、腰痛、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫・・・などの治療に利用します。

各種軟膏・点眼薬・点鼻薬

各種軟膏（漢方軟膏、アトピー軟膏、痒み止め、非ステロイド軟膏、ステロイド軟膏、抗生物質、抗真菌剤、保湿剤）、点眼薬（抗菌剤、抗生物質、抗アレルギー剤）、点鼻薬（抗アレルギー剤）、喘息吸入薬、口腔内（口内炎用貼付剤及び軟膏、抗真菌剤、含嗽薬）、湿布薬（冷湿布、温湿布）、痔（軟膏、座薬）など。

入院食（手作り）

心のコもった【手作り】料理です。十分に吟味した素材を使い、塩分やカロリーに気をつけています。

従業員募集

看護婦、助産婦、看護補助（当直、病棟補助）の方、ご連絡下さい。
面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給

処置診

処置、検査、点滴、針、スーパーライザーの場合
【受診者名簿】の【処置診】の欄に、【氏名】を書き、診察券を入れて下さい。

骨量測定（DEXA）

1分で測定（極少量のX線吸収を利用）でき、結果は、直ぐお知らせします。

外来の休診

8月14日（月）、15日（火）は外来を休診にします。
お産などの急患は、この限りではありません。

足つぼ刺激、体脂肪測定

足のつぼを刺激は、10分で5kmの散歩に相当します。糖尿病、高脂血症、神経痛、腰痛、浮腫、高血圧、神経痛などの方、お試し下さい。

駐車場

- ・北-駐車場（40台）（日曜・祭日・祝日：終日閉鎖）
月・水・金：午前8:30～夕方診終了まで
火・木・土：午前8:30～午前診終了まで
- ・東・南駐車場（11台）（終日駐車可能）

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午 前	一般外来	妊婦外来 助産婦相談室	漢方外来	漢方外来	妊婦外来 助産婦相談室	一般外来	-
夕 方	更年期外来	-	不妊外来	-	漢方外来	-	-

- 午前の診察（月～土） 午前9:00～正午 午後の診察（月・水・金） 午後5:30～午後7:30
- ◇一般外来：漢方治療を望まれる方〔男性・女性・小児、どなたでもお越し下さい〕
 - 産科〔妊婦健診・妊娠中の方の不調〕
 - 婦人科〔癌健診・子宮筋腫・子宮内膜症・更年期障害・不正出血・・・〕
 - ◇漢方外来：内科・小児科・皮膚科・産婦人科・整形外科・耳鼻科・眼科・・・など全科
 - ◇更年期外来：更年期の方・思春期の方〔女性・男性、どなたでもお越し下さい〕
 - ◇不妊外来：赤ちゃんの欲しい方〔ご夫婦でもお越しになれます〕
 - ◇妊婦外来：妊婦健診・妊娠中の方：（火）午前11：00～正午は産後健診、赤ちゃん健診
 - ◇助産婦相談室：妊婦相談、乳房相談、育児相談（午前8:40～午後12:30）（日程は掲示）

前期と中期－母親教室

日時：8月29日、10月24日、12月12日（火）
 対象：妊娠7ヶ月までの方（定員5名）（無料）
 場所：当院1階 申込方法：【申込ノート】にご予約ください。
 皆様のご希望に答えて、後期母親教室の回数をできるだけ2回にいたします。ティータイトム、ご期待ください。

後期－母親教室

日時：8月8日、9月5日、19日、10月3日、17日、11月7日（火）
 対象：妊娠8～10ヶ月の方（定員5名）（無料）
 お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

母親教室ティータイトム

“フルーツカクテルのシャンパンかけ”（Fruitscocktail）と“サヴァラン”（Savarin）です。ピアノの詩人“ショパン”は、フルーツカクテルによく冷えたシャンパンをかけたものを好んだそうです。フルーツのおいしさが混じり合う繊細な味わいは、ショパンの音楽に通じるものがあります。
 “サヴァラン”は、“美味礼賛”の著者“ブリア・サヴァラン”の名前をとったお菓子です。



乳 房 管 理

母乳で育てて頂くために、妊娠32週と37週に、乳房・乳頭のチェックを積極的に実施しています（切迫早産傾向の方は口頭による説明のみ）。
 授乳期に、乳管開口が不十分、赤ちゃんの哺乳力が弱い、乳頭陥凹などの原因で、乳汁うっ滞のある方、乳汁分泌の悪い方には、乳房マッサージや漢方薬で治療します。又、妊娠、授乳中に乳房に“しこり”を感じた方は、早目にお申し出下さい。



分娩予約の手続き

当院で分娩を予定されておられる方、できるだけお早めに、受付でご予約ください。ご予約には、分娩予約カードと予約金5万円が必要です。

助産婦相談室

妊娠、乳房、母乳、育児相談と健診の説明。
 日時：原則として、火・金曜日 午前8:40～午後12:30

LDRベット

同じベットで、陣痛期、分娩期、回復期を過ごせます。陣痛や分娩ポジションも色々選べます。

赤ちゃん健診

1カ月健診、2カ月健診、3カ月健診をしています。
 日時：毎週火曜日、午前11時～正午（有料）

立合分娩ご希望の方

あらかじめ、【受付】にお申し出下さい。

第10回妊婦のための料理教室

日付：10月13日（金） 時間：午前10時～午後2時
 対象：妊婦の方（無料） 献立：ミニフランス料理

大切な知識

早産マーカー(12号) NST(13号) 子宮頸管細菌培養(14号) 赤ちゃんの予想体重(15号) 胎盤機能検査(16号) 分娩予定日(17号) 骨盤位(18号) 食事指導(19号) 妊娠中の貧血(20号) 骨粗鬆症(21号)

保険証変更の方

保険証変更予定の方、保険証変更された方は、できるだけ早く、受付に連絡して下さい。保険が使えなくなることがあります。